

製品名: Otx2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86317**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:32 kDa; Observed MW:32, 34 kDa

抗原情報

遺伝子名	Otx2
別名	CPHD6; MCOPS5
遺伝子 ID	5015
SwissProt ID	P32243
免疫原	ヒト Otx2 の合成ペプチド

背景

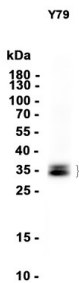
この遺伝子は、ホメオドメイン含有転写因子の bicoid サブファミリーに属するタンパク質をコードする。コードされているタンパク

質は転写因子として作用し、脳、頭蓋顔面、および感覚器の発達に関与する。また、コードされているタンパク質は、有糸分裂中のドパミン作動性神経前駆細胞の増殖と分化にも影響を及ぼす。この遺伝子の変異は、症候群性小眼球症 5 (MCOPS5) および複合性下垂体ホルモン欠損症 6 (CPHD6) を引き起こす。この遺伝子は、髄芽腫において発癌性を有する可能性も疑われている。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生じる。この遺伝子の偽遺伝子は、2 番染色体と 9 番染色体上に存在することが知られている。[RefSeq 提供、2012 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



Otx2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、Y-79 細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。